

平成27年度 文書館評価

評価項目1 文書館の利用 県民の共有財産である文書館の収蔵資料の利用,活用を図ります。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B/A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	24年度	25年度	26年度						
1 登録者数	1,710	1,905	1,931	1,940	2,061	106.2%	<p>各項目とも26年度実績を参考に目標値としました。レファレンス件数を除くすべての項目で目標を達成することができました。</p> <p>登録者数と閲覧者数及び検索システムアクセス件数は増加しているものの、利用点数とレファレンス件数については減少しています。</p> <p>ホームページのアクセス数が大幅に伸びています。インターネットによる利用が浸透してきたものと考えられ、その分直接的なレファレンス件数の減少に結びついたと考えます。</p>	<p>魅力ある展示,講座を設けるとともに,彩の国だよりでの広報をはじめ,記者発表方法の工夫や情報提供先を増やすなど積極的な情報提供を行いました。</p> <p>ホームページの充実を図りました。</p> <p>講座,研修会参加者に対して,文書館利用申請書を配布するなど閲覧者以外の方や県職員にも積極的に文書館をPRしました。</p>	<p>利用点数とレファレンス件数が減少していることから,文書館の存在や利用方法,収蔵資料への関心を高める努力を続けていく必要があります。</p> <p>引き続き様々な広報活動により文書館の存在や活動の周知を行い,利用促進を図ります。</p> <p>ホームページや検索システムの充実を図り,館の利用にさらに結び付くよう工夫をしていきます。</p>
2 閲覧者数	4,046	4,006	4,190	4,200	4,629	110.2%			
3 利用点数	39,470	34,606	34,086	34,090	35,587	104.4%			
4 レファレンス件数	1,295	1,293	1,056	1,060	670	63.2%			
5 検索システムアクセス件数	79,248	77,382	77,750	77,760	100,912	129.8%			
参考) 利用者数	17,880	18,322	17,929	-	20,169	-			
参考) ホームページアクセス数	32,943	40,363	75,102	-	105,185	-			

評価項目2 行政文書の公開 歴史的・文化的に価値ある行政文書を収集・整理し公開することにより,県政の記憶装置として県民の要望に応えます。

測定項目	過年度実績 (公開累積数で表示)			目標値A	実績値B	達成率 B/A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	24年度	25年度	26年度						
行政文書の公開点数	146,474	152,331	160,985	165,985	170,186	102.5%	<p>新たに収蔵する文書の整理や既収蔵文書の見直しを行い,5,000点の新規公開を目標とします。</p> <p>行政文書の新規公開点数は9,201点でした。</p> <p>完結後10年を経過した文書及び歴史的資料の移管手続きが順調に進んだこと並びに完結後30年又は50年後に公開を予定して収集した歴史的資料に係る利用協議も円滑に進んだことにより。</p>	<p>文書作成から30年,50年など,定期的に制限を見直し,公開の促進を図りました。</p> <p>研修や庁内広報等により県職員の公文書に対する意識啓発を図りました。</p>	<p>引き続き,完結後10年を経過した文書及び歴史的資料の移管手続きを滞りなく進める必要があります。</p> <p>完結後30年又は50年後に公開を予定して収集した歴史的資料に係る利用協議も,円滑に進める必要があります。</p>

評価項目3 古文書の公開 埼玉県に関する歴史的・文化的に価値ある古文書の整理・公開を促進して県民共有の財産とし、県民の要望に応えます。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B / A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	24年度	25年度	26年度						
古文書の公開点数	392,437	401,417	411,692	419,692	421,617	100.5%	<p>未整理分古文書の整理と目録公開(8000点)を図ります。</p> <p>古文書は未整理の寄贈・寄託文書に番号を付し、文書目録を作成し、文書目録及びホームページで公開しています。</p> <p>収蔵文書目録第55集「飯塚家文書目録」の刊行により、9925点の公開を達成することができました。</p>	<p>整理(目録)計画に基づいた整理を推進しました。</p> <p>次年度に予定している目録刊行に向け、資料の整理を進めました。</p>	引き続き、未整理資料の整理と目録公開に向けた作業を進める必要があります。
報道写真の公開点数	31,895	58,100	76,363	110,363	107,417	97.3%	<p>昭和41年1月～42年12月分(34,000点)の公開を目指します。</p> <p>ほぼ公開目標点数に達成しました。</p>	<p>埼玉新聞社から寄贈を受けた、同社撮影の戦後報道写真の整理を順次進め、公開点数が10万点を突破しました。</p>	引き続き、計画的な公開を目指します。

評価項目4 地図資料の公開 埼玉県に関わる地図資料を収集して、整理、公開を進め県民共有の財産として公開します。

測定項目	過年度実績 (公開累積数で表示)			目標値A	実績値B	達成率 B / A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	24年度	25年度	26年度						
地図資料の公開点数	73,060	73,616	74,917	76,000	76,929	101.2%	<p>整理公開点数を累計76,000点とします。</p> <p>目標値を予定通り達成することができました。</p>	<p>県作成地図は、紙地図・電子地図の発行状況を把握し、資料収集に努めました。</p> <p>市町村の協力を得て、市町村作成地図の収集に努めました。</p> <p>国土地理院作成の埼玉県に関する地図等の収集に努めました。</p>	<p>地図については、保管スペースの確保という点を念頭に、資料の収集範囲や閲覧対応について検討を行う必要があります。</p>

評価項目5 史料叢書の刊行及び県史編さん資料の整理公開 郷土埼玉に関する貴重な史料を刊行するとともに県史編さん資料を整理し公開します。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B / A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	24年度	25年度	26年度						
1 史料叢書の刊行	第16巻 栗橋関 所史料 五	埼玉県 史料叢 書12中 世新出 重要史 料二	第17巻 埼玉県 布達集 一	第18巻埼玉 県布達集二	第18巻埼玉 県布達集二	100%	埼玉県史料叢書18『埼玉県布達集二』を刊行します。 埼玉県史料叢書18『埼玉県布達集二』を刊行しました。	既存の刊行計画に基づき『埼玉県史料叢書』の刊行を進めました。 将来的な編さん作業については、編集企画委員会の開催を通じて有識者から意見をいただき、今後の刊行継続に向けた検討を行いました。	引き続き、県史編さん資料の整理・公開を進めるとともに、「史料叢書19巻」の計画的な刊行を目指します。
2 県史編さん資料(写真資料等)の公開点数 (公開累積数で表示)	11,761	13,761	15,761	17,761	18,479	104.0%	県史編さん資料(写真資料等)の公開点数を、前年度比2,000点の増加を目指します。 目標を上回る2,700件以上の県史編さん資料を公開しました。		

評価項目6 収蔵資料の保存 県民共有の財産である古文書・行政文書などの資料を後世に伝えていくため、良好な状態で保存し、収蔵資料の劣化を防止します。

測定項目	過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B / A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
	24年度	25年度	26年度						
1 古文書 : 修復(枚)	200	134	114	150	116	77.3%	古文書の修復、複写本の作成、マイクロフィルム化は前年とほぼ同じ目標値とします。 報道写真について、今年度は新たに30点のデジタル画像の追加提供・公開を目標とします。 古文書の形状や劣化状況によって、修復にかかる手間が大きく異なります。27年度は、簿冊形状で虫損が多い、修復が困難な古文書が多かったため、修復できた点数が目標を大きく下回りました。	古文書の修復をすることにより閲覧できる状態にし、利用者の利便性を図りました。 埼玉新聞社撮影戦後報道写真のデジタル画像データを彩の国デジタルスキップステーションへ提供し、同所で公開しました。	引き続き、劣化のため公開が困難な古文書の把握に努め、補修作業を進める必要があります。
2 古文書 : デジタル化報道写真公開数 (点)	-	736 (累計)	766 (累計)	796	796	100.0%	戦後報道写真については、目標の公開点数を提供することができました。 24年度の実績値(参考値) 「デジタル化した報道写真点数」 144,225点		
3 行政文書 : 重要文化財指定文書の複製化 (冊) (コマ)	124 (57,191 コマ)	235 (99,638 コマ)	190 (77,654 コマ)	204 (71,330コマ)	151 (71,202コマ)	99.8%	前年度の契約実績や文書課から執行委任された予算を助案し、撮影コマ数、原本簿冊ともに増加を目指します。 複製化については、重要文化財を取り扱える業者が少なく、競争入札に付したものの契約単価が上がり、取扱コマ数が目標数値に届きませんでした。	重要文化財に指定されている文書群のうち、明治期及び昭和戦中期の行政文書について、マイクロフィルム撮影による複製化が終了しました。 大正・昭和戦前期分について、引き続き計画的に複製化を進めました。	新規の入札参加業者を開拓し、契約に競争性を持たせるよう努めながら、次年度以降も計画に沿った複製化を推進する必要があります。

評価項目7 文書館の普及、連携、協力活動 行政文書・古文書・地図等の収蔵資料を活用した講座・講習会及び子ども体験事業を通じて、県民の学習意欲と理解を深め、文書館の利用を促します。

測定項目		過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B / A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
		24年度	25年度	26年度						
1 講座、普及事業	回数	32	32	32	32	32	100.0%	<p>各種事業の回数や参加募集人数については、昨年度並の目標値としました。</p> <p>補修ボランティアについて、実施回数は昨年度と同じですが、延べ人数については、ボランティア登録者が少なくなったため(12名 9名)、目標値を下げました。</p> <p>講座・普及事業の参加者数については、目標を達成できませんでした。これは、いずれも事業当日にキャンセルがあったことによるものです。</p> <p>古文書補修のボランティア活動は、登録人数の減少に加えてメンバーの高齢化も影響し、参加延人数が目標値に達しませんでした。</p>	<p>彩の国だよりをはじめ、催物案内、ちらし等への掲載並びに広報範囲を拡大するなど積極的に広報活動を行いました。</p> <p>ボランティアの受入を積極的に行い、充実した事業展開に努めました。</p> <p>当館主催事業のメインである講座・普及事業については、古文書講座、古文書解読講習会、地図教室、歴史講座(寄居町と共催)、文書資料取扱講習会、子ども体験教室、県民の日アーカイブズなど、計32回の普及事業を開催しました。</p> <p>教員対象研修会、文書館利用体験講座のほか、職場体験学習(中学生)、学習支援(受入、出前授業)、大学ゼミ、博物館実習を受け入れました。</p>	<p>過年度のアンケート結果を生かし、県民のニーズにあった普及・連携事業の開催に努める必要があります。</p> <p>児童生徒の学力向上の一助となるよう、引き続き、教員向けの研修会や学校への講師派遣活動を積極的に行うことが必要です。</p> <p>大学生等の受け入れ機会を増やすなど、学校連携の強化が求められます。</p> <p>ボランティア活動については、参加回数だけでなく、活動に対する満足度の数値化を検討する必要があります。</p>
	人数	1,804	1,473	1,313	1,400	1,293	92.4%			
2 学校との連携事業	回数	33	40	40	40	45	112.5%			
	人数	904	803	1,156	800	1,323	165.4%			
3 ボランティア活動 古文書補修	回数	40	40	39	40	40	100.0%			
	延人数	350	376	340	320	221	69.1%			
4 ボランティア活動 子ども事業	回数	11	12	12	12	12	100.0%			
	延人数	66	48	63	40	105	262.5%			

評価項目8 展示 収蔵資料を利用・活用してもらう導入部分として常設展示、コーナー展示をそれぞれ開催します。

測定項目		過年度実績			目標値A	実績値B	達成率 B / A	目標値の設定理由 達成状況分析	27年度の取組	次年度以降に向けた改善点
		24年度	25年度	26年度						
年間観覧者数(人)		8,520	10,135	8,755	8,500	10,283	121.0%	<p>1日平均の観覧者数を30人として目標値を定めました。</p> <p>コーナー展示「小室家文書」は、地元のときがわ町をはじめ県内外から多くの観覧者がありました。</p> <p>熊谷市教育委員会との共催展「熊谷の絵図」にも多くの観覧者があり、当館の入館者としても計上しました。</p>	<p>例年どおりの重文行政文書展・地図展のほか、「小室家文書」「埼玉の県令」のコーナー展示を開催しました。</p> <p>熊谷市教育委員会との共催展として熊谷市郷土資料館で当館収蔵の村絵図を中心とした特別展「熊谷の絵図」を開催しました。</p> <p>事業のPRについては、報道機関への広報を行ったほか、展示にリンクしたイベントの開催に努めました。</p>	<p>文書館の改修工事・休館が計画されていることもあり、文書館単独事業に加え、今後は他館や市町村との連携・共催事業の企画・充実を進めていく必要があります。</p>